

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かぶとむしクラブみのう		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年10月7日		～ 2024年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自由に遊べる部屋と静かに過ごす部屋、学習室など、目的によって部屋を分けて使うことができるため、児童にあった過ごし方ができる。	気持ちが落ち着かない児童がいるときは、クールダウンの部屋を開放したり、体調が悪い児童がいるときは、静かな部屋に誘導するなど、状況に応じて部屋を使い分けている。	児童数が多く、一部屋に児童が密集してしまうことがあるため、天気がいいときは庭を開放したり、近くの公園に行くなどして、児童にストレスのないよう周囲の環境を活用して支援を行っていく。
2	職員間での連絡を随時行っており、児童の状況の把握・共有がしっかりとできている。	送迎時に保護者から伝えられたこと、学校側からの伝達などを職員間で細かく情報共有を行っている。	伝え漏れや伝え間違いのないよう、伝言を受けた職員はメモを取るなどの工夫を行い、情報伝達をよりしっかりと行っていく。
3	防災訓練を定期的実施している。	消防士さんに来所してもらったり、消防署に出向いたりして、定期的に防災訓練を行っている。また、事業所での火事や自信を想定して、避難経路、場所を設定し、実際に訓練も行っている。	ハザードマップの確認や自然災害時のマニュアルについて、作成はしているが、保護者には公表できていないため、今後HPなどを通して、保護者がいつでも確認できるよう準備を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障害のない児童との関りが持てていない。	児童クラブ等とのつながりがなく、交流ができていないのが現状。公共の施設などを利用する際に、交流することはあるが、それも限られている。	児童クラブ等とのつながりを作る必要がある。もっと積極的に子どもの集まる場所へ赴き、交流を図る機会を増やすことも必要。
2	協議会等への参加がない。	協議会等への参加のお知らせはいただくが、支援時間や営業時間との兼ね合いで参加できていない。	職員数や時間に余裕がある際には、協議会等への参加に職員を派遣したいと考えている。
3	父母の会や保護者会など、家族が交流する機会が持てていない。	コロナ禍以降、親子レクリエーションや保護者会の開催が困難となり、以降実施ができていない状況。	感染対策は必要であるが、しっかりと対策をした上で開催することは可能なため、どこかで保護者会や親子レクリエーションなど、保護者が参加できるイベントを計画したいと考えている。